

自然と共生するため池整備のご案内

都市部では、身近な樹林や水辺などの空間は、様々な生き物の棲み家となり、人々が自然とふれあうことのできる大切な環境です。しかし一方では、人口の集中や産業の発展などによって、森林などの自然環境をはじめ、農地や樹林地などの二次的な自然環境も減少傾向にあり、動植物の生息・生育空間が狭められてきています。

こうしたなかで、都市部に点在する農業用ため池の多くは、ため池特有の生態系を維持しており、今では希少となった動植物が生息しているところもあります。

当協会では、身近な自然空間の確保と充実を図り、人と様々な生き物が共生するため池づくりを目指して、ため池を含む周辺環境をビオトープとして整備・活用するとともに、貯水池としての機能を合わせ持ったため池整備を提案しています。



自然共生型ため池の整備例
(福岡市観音ヶ浦池)

自然共生型ため池づくり

動植物調査、基本計画、基本設計、ワークショップ（座談会）、維持管理計画など、地域参加型の計画づくりを行っています。

自然環境調査

- ・水質、底質調査
- ・動植物調査
- ・ビオトープネットワーク分析



ワークショップの開催・運営

- ・現地見学
- ・住民によるイメージづくり
- ・計画の練り上げ
- ・維持管理の役割分担



基本計画・基本設計 ・実施設計

- ・ゾーニング
- ・平面計画、基本設計
- ・自然環境への配慮
- ・住民と行政の協働による維持管理



一般財団法人

九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL 092-662-0410

FAX 092-662-0411(代表) 092-662-0424(計画課)

e-mail:syougai@keea.or.jp <http://www.keea.or.jp>

計画関係 : 環境部 計画課
料金・見積関係 : 総務部 渉外課